

『思い思いの若者たち』

## 少子化対策は希望ある社会づくりに向かうこと

法人理事 布袋 太三

「少子化問題」というのは、放っておくと社会の根幹を崩すようなさまざまな難題を次々と生み出してしまおう。

15 年程前に『そだちの科学』という雑誌が「子育て論のこれから」という特集を組んだ。その巻頭言は「このままのペースで日本の少子化が続けば、人口は 30 世紀には五百人を切り、34 世紀にはたった一人になってしまう」という極めて衝撃的な数字を紹介した。

さらにまた、子ども学の第一人者、本田和子には「日本は子どもと子育てが忌避される時代にすでに突入している」などかなり刺激的な指摘を語らせていた。

要するに、日本の少子化状況は質的にも量的にも相当危機的だということが何年も前から言われ続けてきていたのだ。

ただ肝心の日本の政府の反応は極めて鈍く、最近になってやっと「異次元の少子化対策」などと言い始めた。しかし、一向にほとんど対策の中身が明らかにされないままなので、その本気度はいまいちかもしれない。

もう 20 年ほど前になると思うが、超党派の国会議員によって「少子化対策基本法」が成立し施行されたことがあった。そこには、子どもを生み育てる者の経済的負担の軽減をはじめ、雇用環境の整備、雇用慣行の是正など「子育てに優しい社会に転ずるための基本的施策」が盛り込まれていた。尤も、現実にはこの基本法はまったく絵に描いた餅だった。

この 20 年間はほぼ何の進展も見られなかったばかりか、明らかに状況は後退の一途を滑り落ちていった。

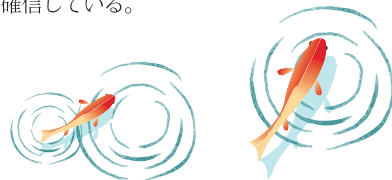
実際この間、若者や女性の「非正規労働者化」は急速に進み、彼らは低賃金と不安定な雇用事情に翻弄され続けてきた。そうして、みるみる格差は絶望的に拡大し、現在のように子育ても結婚も諦めざるをえない若者たちを広範に社会的に生み出してきてしまった。

私は、少子化は多くの持たざる若者たちによる、この不条理な世への切なくも静かな叛乱かもしれないと思っている。そして、本来なら子どもたちに囲まれた暖かい家族と共にありたいのに、そのコースを非情にも断念させられた普通の若者たちの苦い涙の結果ではないかとも思う。

紙幅の都合で端折ってしまうが、結論を言うと、私は「まずは子育て世代の男女に経済的余裕と雇用慣行の特典を約束し、かつ平和で希望のある社会づくりに政策を集中する」ことさえできれば、少子化はすぐにも緩やかな解決に転じていくと思っている。

そのために、私たちは現在のあまりに野放しの経済的格差こそは早急に改めなければならないし、あの坂本龍一のように「反戦」を貫く決意を固め続けていなければならない。

ともあれ、社会全体が青年たちを真ん中に希望と活力を取り戻す新しい試みを溢れさせていくなれば、やがて日本は再び、何処に行っても子どもたちの弾ける声が響きあう国になるにちがいないと、私は未だ確信している。



## 事業紹介



### 若者サポートステーション

南紀サボステ・Withyou 南紀では、来所相談・出張相談の他、職場体験やセミナー、コミュニケーション講座等を行っています。今年度は職場見学・体験など、外に出かけていく機会も増えそうです。

### ひなたの森

今年度も引き続き、同じスタッフ体制で動き出しています!!

新しいメンバーも増え、居場所では連日、カードゲームやボードゲームなどで大盛り上がりです(新旧メンバー対決なども)。昼食会での親子丼や、外食会での天下一品(こってり初体験)!! 見事に食べるこぼっかりですね(笑)



### 就労準備支援事業

利用者さんが、さまざまな作業体験を通じて、必要な生活習慣や基本的な対人スキル、マナーを身につけることを目標に、工房での焼菓子の製造や、ひなたの森での内職作業を提供しています。工房では 6 種類の焼菓子の製造の他、乾物の袋詰めも行っており、内職では箱折りやシール貼り等の軽作業に取り組んでいます。



### あづまプラッツ

去年、12 月に新しい事務所に移転しました!! 趣のある民家で、スタッフ・メンバーともにほっこりしながら過ごしています。新宮にお立ち寄りの際は、遊びに来てくださいね。プラッツの人気プログラムである、レザークラフト体験で作ったオリジナル財布です!

